

関中学校だより



関中学校HPにアクセス

※ 第13号 ※
 令和7年9月18日発行
 亀山市立関中学校
 文責：堀内

全国学力・学習状況調査等の結果分析と今後の取組について

3年生は、4月17日に全国学力状況調査を、1・2年生は、4月22日にみえスタディチェックを行いました。関中学校では、全職員で夏休みにそれらの結果を分析して、本校の強みや弱みを確認し、弱み(課題)を改善するための取組について話し合いました。下記に、全国学力状況調査やみえスタディチェックの結果、今後の取組について示しました。

全国学力学習状況調査の
 平均正答率(国・数)
 平均IRTスコア(理科)【3年生】

教科名	本校	三重県	県との差	全国	全国との差
国語 (%)	55.0	53.0	+2.0	54.3	+0.7
数学 (%)	50.0	47.0	+3.0	48.3	+1.7
理科 IRT	513	498	+15	503	+10

みえスタディチェックの
 平均正答率【1・2年生】

教科名	1年生			2年生		
	本校	三重県	県との差	本校	三重県	県との差
国語 (%)	53.8	55.6	-1.8	51.6	50.5	+1.1
数学 (%)	55.6	52.3	+3.3	52.7	52.3	+0.4
理科 (%)	51.3	55.0	-3.7	40.8	44.7	-3.9

【国語】

各教科の分析と今後の取組について

強み 全国学力状況調査では、知識・技能を問う問題の正答率が、全国に比べて9ポイント高かった。国語の学習に対する意識が高く、漢字や語句の知識があり、条件付きの作文を作ることが得意である。

弱み 文の中の主語と述語の関係性を捉えることが苦手であり、文章全体の構成を捉え、内容と中心となる事柄を把握することに課題がある。

今後の取組 全体を読むことと部分を読むことのどちらも時間をとって丁寧に確認する。既習事項の確認を確実に行う。文法テストを学期に1回以上行う。

【数学】

強み 図形の証明や角度を求めることが得意である。計算技能は身に付いている。

弱み 素数の説明などの数学的用語や知識を問う問題は、あいまいな理解である。日常の具体的な場面に対応させ、問題解決のために数学を活用すること、数学的に説明することに課題がある。

今後の取組 どのように考えたのか数学的に説明する機会を増やす。演習の時間を十分に確保し、インプット：アウトプット=6：4を目安に取り組む。



【理科】



強み 実験観察の基本的な知識技能が身につけている。電気回路やオームの法則について理解している。

弱み 表の読み取りや実験結果や観察結果から比較や推論をし、そこから結論や考察を導き出せるような思考の過程を積み上げていくことに課題がある。

今後の取組 実験や観察を行い、比較・推論をする機会をもつ。実験や観察の後、課題（ワーク）に取り組む。

関中学校では、9月の Kameyama Study Week (9月4日～10日)で、実力テストや宿題テスト等の振り返り、授業規律の徹底、朝の学習でAI型タブレット教材「キュビナ」を活用して学習を行いました。キュビナは、毎日10分以上活用して学習することで学力が向上することが検証されています。授業でのキュビナの活用、朝の時間にキュビナを使った学習を9月は継続していきます。ご家庭でも家庭学習の時間確保、お声掛けをよろしく願いいたします。

中学生議会に参加しました



8月26日(火)、第2回中学生議会が亀山市役所議会本会議場にて開催されました。次世代を担う生徒たちが行政や議会の仕組みを学び市政への関心を深めてもらうこと、自由な発想や意見を市政の参考にするを目的に行われました。関中学校からは5名の生徒が参加しました。生徒たちは「亀山市の駅のトイレ」「体育館へのクーラーの設置」「関駅の電車の本数」「夜の関中学校の魅力を最大限に生かすイベント」「中学校における新しい出会いや交流」について一般質問をしました。この中学生議会での提案が一つでも現実のものになるといいなと思います。中学生議会終了後は、生徒たちがメディアからのインタビューを受けていました。生徒たちは、市議会の雰囲気にも緊張しながらも、堂々とした態度でしっかりと発言していました。参加した生徒に感想を聞くと、「とても楽しく、達成感があった」、「課題を一つ一つ解決するためにみんなで話し合うことが大切だと思った」と話していました。今後亀山市の魅力発信し、より住みやすい亀山市を目指して、活躍してほしいと思います。

【参加者】3年生代表
藤本紫妃 松繁悠真 永野瑛大
青山奏音 西川星菜

